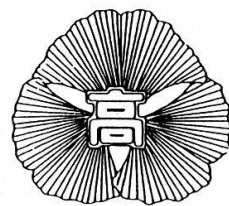


# 和国通信



平成24年春号

## ○日々前進

校長 亀卦川誠也

本校は、全国初の公立の国際高校として、今年で26年目を迎えています。「国際社会でリーダーとして活躍する有能な国際人の育成」を目指す学校像として、明確で実践的な特色ある教育を行ってまいりました。

今、大きな課題に直面する我が国において、日本人としての誇りと自信を持ち、堅固な意志で復興、再生の柱となり、さらには、世界という舞台上、たくましく、しなやかに、堂々と活躍する志高い人材の育成が強く求められています。

こうした状況への認識のもと、世界に通じる学力、他を思いやる豊かな心、困難を果敢に乗り越える気力と体力等、知・徳・体のバランスのとれた教育の提供こそが本校の使命であると自覚しています。

本校教育の特色は、以下の6つにまとめられます。

- 1 外国語教育を重視した国際理解教育
- 2 情報活用能力の育成
- 3 個性に応じた進路指導の徹底
- 4 国際社会に生きる人間として必要な規範、マナーを身につける教育
- 5 帰国生徒・外国人生徒の受入れ
- 6 資格・検定取得の指導

単なる受験技術だけにとらわれない学びの向上、国際社会に生きる志の育成、その結果としての進路実績の向上に向け、学校全体が全力を尽くしています。授業の充実を最大の柱とした上で、高校生活のもう一つの柱である、学校行事や生徒会、部活動、ボランティア活動にも力を注いでいます。

楽しいだけに終わらない高校生活、困難を乗り越えながら、毎日を新たな日として前進して行く生活。生徒も教職員も熱気を発する、元気で明るく一生懸命な和光国際高校に、さらなる御支援をいただきますようお願い申し上げます。

## ○目標・努力・仲間～今春の進路実績劇的向上

「目標を高く持ち、あきらめず努力し、共に高め合う仲間を作る」

私が、機会あるごとに話していることばです。平成24年春の卒業生(23期生)の進路実績は、まさにこうした姿勢が表れた結果だと言えます。

努力を惜しまず勉強し、3年生後半になって志望を高くした生徒、模試の結果に一喜一憂せず、自ら選んだ道を買った生徒、勉強合宿で、毎日11時間の勉強に集中した生徒、こうしたひたむきな一人一人の努力が、難関とされる大学への合格を大幅に向上させました。

現役合格数	早慶上理	25	【早稲田・慶応・上智・東京理科】
	GMARCH	106	【学習院・明治・青山・立教・中央・法政】

.....One day, one discovery.